
紺青に染まる。

紅月夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紺青に染まる。

【Nコード】

N8096I

【作者名】

紅月夜

【あらすじ】

藍染惣右介の反乱が治まった後、記憶を封じられた一護が、人間として生を全うし。423話後設定。元「心亡」加筆修正中。

第一話

白い塔がある。

その隣には、大きな切れ込みの入った丘があり、違和感を演出している。

塔の周囲には、円を描くように、真白い建物が幾つも存在していた。中心程高く、外に行くほど低くなり、やがて木造の貧相な家となる。塔を中心とした建物の円は、そこで一つの境目があった。

境目の外は、東西南北の四つの区域に分かれ、更に各々80の地域に細分されている。

全部で320の地域があるが、それぞれ特色があった。

ある地域は、一面雪原で、人の姿が何処にも見えなかった。

また、ある地域は、悪戯でもされたか、大の大人が包丁を振り回して、子供を追いかけていた。

別のある地域では、人の姿は殆ど見えず、荒地に血痕が散っているだけだった。

その中に一つ、人の姿が多くあり、争いの跡も殆ど見えない地域があった。

そこは、特別寒くも、暑くもない、過ごし易い気温で、更に、近くに川や森があり、別段食べるものに困る立地ではなかった。

故にそこには、老若男女様々な人が生活していた。

彼等は皆、生きる為に多種多様なことをしている。

畑を耕すもの。飯を作るもの。商品の売買をするもの。洗濯を干すもの。??全員に共通することは、他者と関わるための言葉を交わしていることだった。

それは、挨拶であったり、交渉であったり、世間話であったり、と色々な言葉が飛び交っていた。そんな集落群から少し離れたと

ころに、他とは風体の異なる小屋があった。

その小屋は、森と集落の境にあり、非常に古かった。??いや、有体に表現するなら、ボロかった。

扉は閉まらず、壁も穴だらけ。屋根は半分無く、雨が降れば防ぐものは何も無い。いくら過ごし易い気候の地域とはいえ、このままでは暮らせそうになかった。

そこに、一人の人間がいた。

小屋の前、動きやすいよう軽く改造された着物を着た女性が立っていた。

女性は、小屋を見上げ、見回すと、声を作った。

「さて、と」

女らしい、よく通る声だった。

女性は、軽く胸を反らし、口を笑みの形にして、一言。

「そろそろ、かな」

第一話（後書き）

おひさしぶりです。

一年ぶりの更新です……なんか、もう、すみませんしか出てこない……。

文体、大分変えてみましたー。ぶっちやけある方に激似の文章になつてどつきどつきです。

話も結構（？）変わってます。

次の更新はいつになるかな……早くしたいなあ……そんな感じで、
でわ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8096i/>

紺青に染まる。

2011年12月31日04時47分発行